

ビジネスクリエーター研究学会 コメディカル組織運営研究会 第7回学術集会のお知らせ



第7回学術集会にあたって

「医療ビッグデータを活用した リハビリテーション医療の未来」

ICT(Information and Communication Technology)環境の整備に伴い、医療の世界でもデータベースが構築され、ビッグデータを利用したさまざまな取組が行われつつあります。ビッグデータの利活用は、医療政策の立案に寄与するのみならず、我々の日々の臨床業務へも大きな影響を及ぼすことが予測されます。現に、一部の分野では、ビッグデータを利用して成長したAIによる診療補助が始まっており、その波がリハビリテーション医療へも波及することは間違いありません。

そこで、ビジネスクリエーター研究学会コメディカル組織運営研究会の第7回学術集会は、「医療ビッグデータを活用したリハビリテーション医療の未来」と題し、理学療法士ながら医療ビッグデータの利活用促進のフロントラインでご活躍されている東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学の松居宏樹先生をお招きし、「大規模医療データベースを用いた臨床疫学研究の実際」についてお話しいただきます。

また、ビッグデータを利用した臨床研究などを含め、医療の質の評価の基本であるドナベディアンモデルに基づき、さまざまなアウトカム指標をいかに実際の部門のマネジメントへ活用していくかについて、聖マリアンナ医科大学東横病院の八木麻衣子先生よりお話しいただきます。

さらに、今回もリハビリテーション部門運営について、日々奮闘されている先生方より、そのエッセンスが多く詰まった研究発表を募集します！

リハビリテーション医療の未来について真剣に議論する場への、多くのマネジャーの方々のご参加をお待ちしております。

日時：平成30年10月21日(日曜日) 10:00開始予定

会場：立教大学池袋キャンパス12号館地下第1・第2会議室

スケジュール

9:30 受付開始

10:00 特別講演

「大規模医療データベースを用いた 臨床疫学研究の実際」

講師：松居 宏樹 先生

東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学

13:00 講義

「ドナベディアンモデルに基づくアウトカム指標の リハ部門マネジメントへの利活用を考えよう」

講師：八木 麻衣子先生 聖マリアンナ医科大学東横病院

14:00 研究発表(発表20分, コメント5分, 質疑応答15分)

部門管理に関連した3演題を予定しています。
日頃の取り組みをアウトプットしてみませんか？
(演題申し込みについては下記のHPをご覧ください)

16:00 閉会

■参加申し込み：

コメディカル組織運営研究会 co.medical5@gmail.com

①氏名②所属③職種④経験年数を記載の上、メールの件名を
「第7回学術集会」としてお申込みください。

■参加費：1000円(当日にお願いいたします)

■定員：先着60名

(お申込み順とさせていただきます。お早目にお申込み下さい。)



コメディカル組織運営研究会HP

<http://www.comsg.jp/>

過去の研究会の様子、スタッフコラムや部門運営のヒントを掲載しています。
ぜひ、チェックしてみてください。

合わせて、演題募集中です(8月末まで)！奮ってご応募ください。